

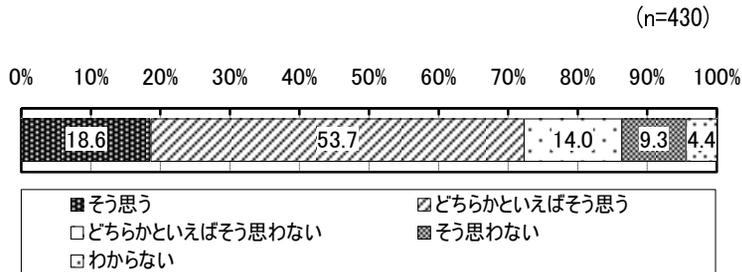
再犯防止対策に関する調査結果

西宮市市政モニターの皆様を対象に2022年7月に「再犯防止対策」について調査を実施し、ご意見をお聞きしました。ご回答して頂きましたモニターの皆様には、厚くお礼申し上げます。

- 有効回答率：90.1%（有効回答者数 430人）
- 有効回答者の構成割合について
 - 男性：51.2%、女性：48.8%、その他：0.0%
 - 10歳代：1.4%、20歳代：9.5%、30歳代：17.4%、40歳代：23.5%、50歳代：21.9%、60歳代：14.9%、70歳代：9.3%、80歳以上：2.1%

再犯防止について

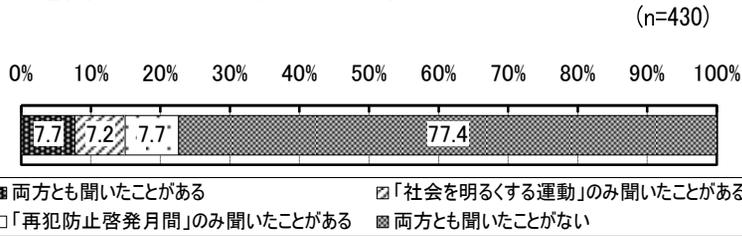
問 再犯防止のためには、『犯罪をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる「誰一人取り残さない」社会の実現が大切である。』という意見について、どう思いますか。



「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人が合わせて72.3%となっています。

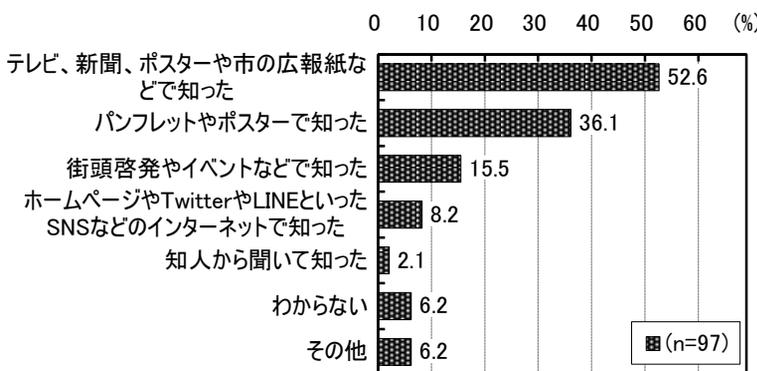
再犯防止に関する広報について

問 あなたは、再犯防止に関する広報・啓発活動の取組である「社会を明るくする運動」又は「再犯防止啓発月間」を聞いたことがありますか。



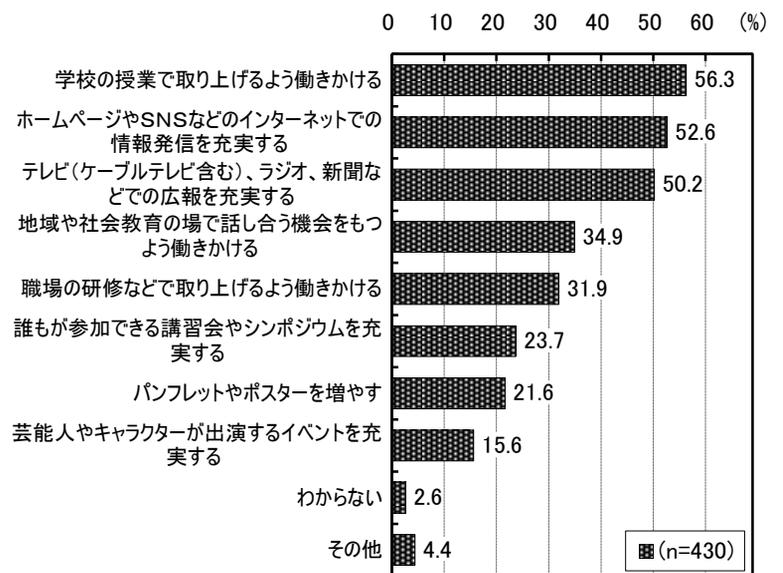
「社会を明るくする運動」と「再犯防止啓発月間」のいずれか、または両方を聞いたことがある人は合わせて22.6%となっています。

問 上記の問で「聞いたことがある」と答えた方に伺います。どのようにして知りましたか。（複数選択可）



「社会を明るくする運動」「再犯防止啓発月間」を聞いた手段は、「テレビ、新聞、ポスターや市の広報紙などで知った」が52.6%と最も多く、次いで「パンフレットやポスターで知った」が36.1%となっています。

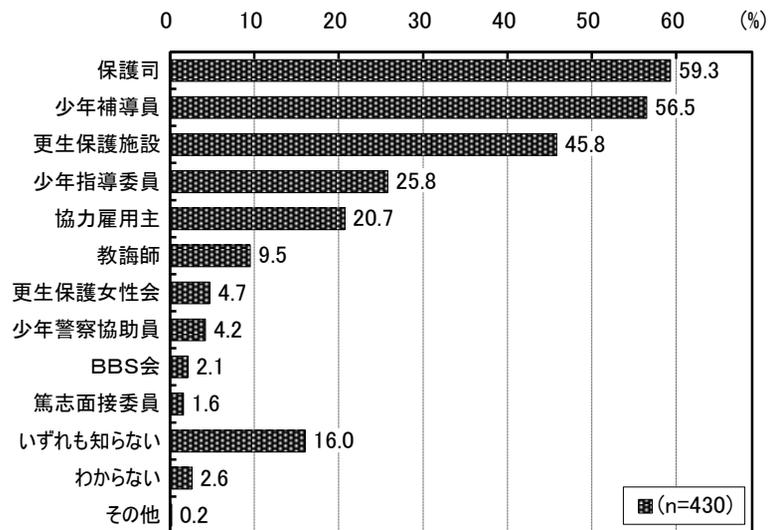
問 あなたは、再犯防止に関して、広く人々の理解や関心を深めるためには、国や市は何をするべきだと思いますか。（複数選択可）



「学校の授業で取り上げるよう働きかける」が56.3%と最も多く、次いで「ホームページやSNSなどのインターネットでの情報発信を充実する」が52.6%、「テレビ、ラジオ、新聞などでの広報を充実する」が50.2%などとなっています。

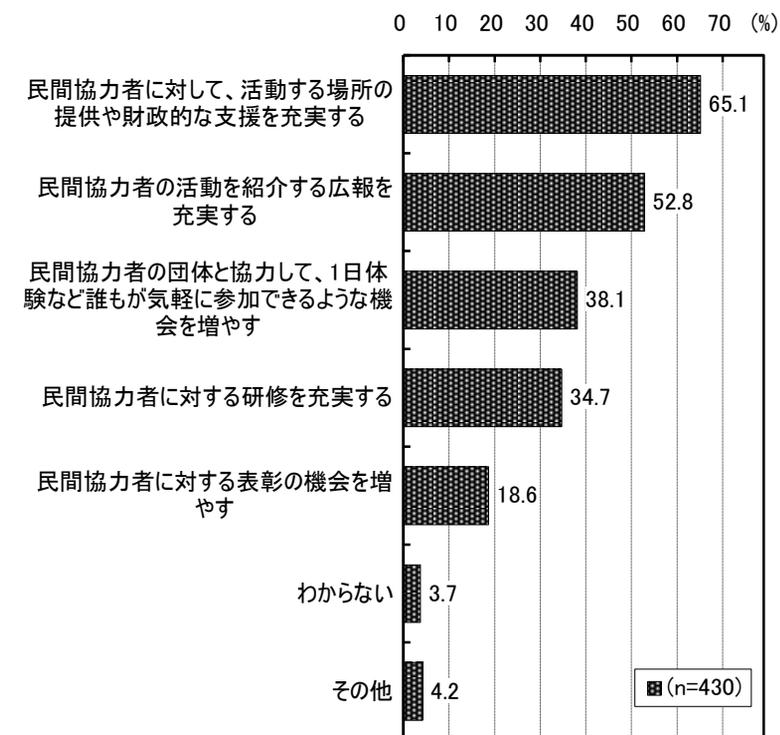
再犯防止に協力する民間協力者について

問 あなたは、再犯防止に協力する民間協力者として、次の方々がいることを知っていますか。（複数選択可）



民間協力者として知っているものは、「保護司」が59.3%と最も多く、次いで「少年補導員」が56.5%、「更生保護施設」が45.8%、「少年指導委員」が25.8%など、いずれかの民間協力者のことを知っている人は81.4%となっています。

問 あなたは、民間協力者を増やすためには、市は、何をすべきだと思いますか。(複数選択可)

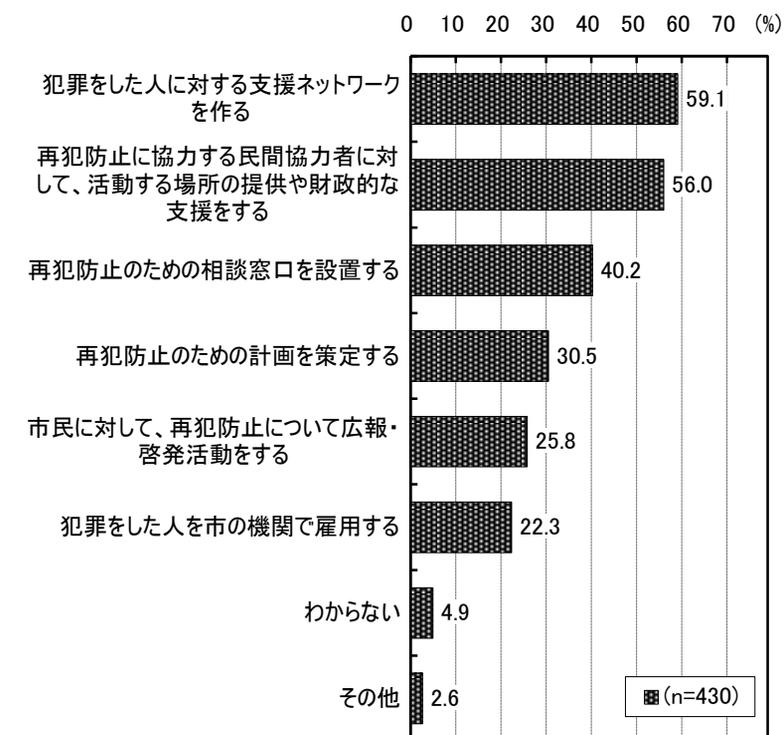


民間協力者を増やすための取り組みについては、「民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援を充実する」が65.1%と最も多く、次いで「民間協力者の活動を紹介する広報を充実する」が52.8%、「民間協力者の団体と協力して、1日体験など誰もが気軽に参加できるような機会を増やす」が38.1%、「民間協力者に対する研修を充実する」が34.7%などとなっています。

※各選択肢の構成比(%)は小数点第2位以下を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。また、「複数選択可」と表記された設問は選択肢の構成比(%)の合計が100%を超える場合があります。

再犯防止の施策について

問 再犯防止のために、市は何をするべきだと思いますか。(複数選択可)



再犯防止のために市が行うべき取り組みについては、「犯罪をした人に対する支援ネットワーク（病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成）を作る」が59.1%、「再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする」が56.0%、「再犯防止のための相談窓口を設置する」が40.2%、「再犯防止のための計画を策定する」が30.5%などとなっています。